

製品名: SOD1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21378**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:100-1:500,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:23kD;Observed MW:15kD

抗原情報

遺伝子名	SOD1
別名	SOD1;Superoxide dismutase [Cu-Zn];Superoxide dismutase 1;hSod1
遺伝子 ID	6647
SwissProt ID	P00441
免疫原	ヒトスーパーオキシドディスムターゼ 1 の組み換えタンパク質

背景

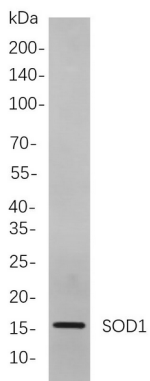
細胞局在: 細胞質、核。この遺伝子によってコードされるタンパク質は銅イオンおよび亜鉛イオンと結合し、体内のフリースーパーオキシドラジカルを破壊する2つのアイソザイムのうちの1つです。コードされるアイソザイムは可溶性の細胞質タンパク質で、ホ

モ二量体として作用し、自然発生的でありながら有害なスーパーオキシドラジカルを分子状酸素と過酸化水素に変換します。もう1つのアイソザイムはミトコンドリアタンパク質です。この遺伝子の変異は、家族性筋萎縮性側索硬化症 (ALS) の原因として示唆されています。この遺伝子には、まれな転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



SOD1 ウサギ mAb を用いた A549 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。